

令和5年度 黒川高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○			公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○
	読み書きできる力、聞く力、目的や場面に応じて質問をする力といった伝え合う力を高める。	日本および世界の地域的特性や歴史的経過への理解を深めるとともに、国際社会を形成する一員としての自覚と資質を育てる。			現代社会への理解を深め、社会を形成する一員として必要な公民的資質を育てる。			事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにするとともに、数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う。			自然の現象に対する関心や探究心を高めるとともに、科学的な思考力を養い、自然災害や環境問題に対応できる力を育てる。						
	保健体育	○	○		芸術	○	○	外国語	○	○	家庭	○	○	情報	○	○	○
	健康・安全・運動について理解を深めるとともに、豊かで活力のある生活を営むことができる力を養う。	芸術の幅広い活動を通して、音楽・美術における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術文化と豊かに関わる資質能力を育てる。			積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育て、情報や自分の考えを適切に伝える力を身に付けさせる。			生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域社会の生活を創造する資質・能力を育てる。			必要な情報を的確に収集できる力や、データを正しく扱う態度、人に伝わる情報発信の技術を育てる。また、基礎的な情報モラルを身につけさせる。						
	農業				工業	○	○	商業	○	○	水産			看護			
	ものづくりを通して、環境やエネルギーに配慮しつつ、工業技術を活かしてより良い社会を作ろうとする態度を養う。			主に就職希望の生徒を対象に、基礎的なビジネス対応能力、及び情報処理能力を育成し、社会における即戦力としての力を身につけさせる。													
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標								
指導内容	①いつでもそのまま面接に行ける服装頭髪		○	◎	1年	・高校生活への適応を図りながら自己理解を深め、自らの適性や志向を考える態度を養う。 ・望ましい人間関係を構築するために必要なコミュニケーション能力を育てる。											
	②挨拶の徹底	◎															
	③朝読書の徹底		○		2年	・職業適性を含めた自己理解を深め、望ましい自己の在り方を実現するために現在すべきことを明確にできる力を育てる。 ・地域の人々や企業と接する実践的な学習を通して、望ましい勤労観や職業観を養い、社会規範やマナーを大切にできる態度を養う。											
	④ベル着の徹底		○	◎													
	⑤部活動の励行	◎	○		3年	・適切な自己理解に基づいた現実的な進路目標を具体的に設定できる力を育てる。 ・進路達成までの見通しを持って、計画的・主体的に行動する態度を養う。											
	⑥課題やレポート提出の徹底		○	◎													
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす						
1年	新入生オリエンテーション	学習習慣や生活状況を振り返り、自分が為すべきことを理解し、実践への準備を行う。			特別活動	4月	4		○	◎							
	進路ガイダンス	目標達成の道筋だけでなく、職業や働き方への理解を深める。			特別活動	7月、10月、3月	6		◎	○							
	新聞を活用した探究活動	新聞を利用して地域の問題を深め、探究的手法で課題解決に向かう力をつける。			総合的な探究の時間	6月	4	◎	○								
	大学見学、工場見学、現場見学	進路目標を設定し、職業への理解を深めるとともに、基本的なマナーの必要性を体感する。			科行事、科授業	11月・12月	6	○	◎								
	人と関わる力の育成	「志教育」の根幹となる「人と関わる力」を実践的に学ぶ。			科行事、全授業	通年	35	◎	○								
先輩から学ぶ	先輩の体験談から、進路目標実現に向けて必要な具体的な行動を理解し実践する。			特別活動	1月	1	○	○									
2年	進路ガイダンス	目標達成の道筋だけでなく、職業や働き方への理解を深める。			特別活動	5月、10月、3月	6		◎	○							
	工場見学、現場見学・企業見学	企業研究の方法を実践的に学ぶとともに、見学先と自分の進路とを関連付けて考える。			科行事、科授業	11月	6	○	◎								
	ジュニア・インターンシップ(環境技術科)	体験学習を通して、人と関わる力の必要性を実感したり、勤労観や職業観を確立したりする。			科行事	10月	22	○	◎	○							
	地域を題材にした探究活動	多様な人々と関わりながら地域への理解を深め、探究的手法で課題に向かう力をつける。			総合的な探究の時間	後期	20	◎	○	○							
	先輩から学ぶ	自分の進路選択を基に先輩の体験談を聞くことで、人間の生き方への理解を深める。			特別活動	1月	4	○	○								
3年	進路ガイダンス	自分が目指す生き方や働き方に資する生活を送れるようになる。			特別活動	5月、10月	6		◎	○							
	工場見学、現場見学	具体的な課題意識を持って見学に行くことで、進路選択に結びつける。			科行事、科授業	7月	6	○	◎								
	地域インフラ研究	産官学民協働による地域インフラ維持管理に参加することで、社会貢献への理解を深める。			課題研究	5月～1月	75	○		◎							
	ブリッジ講習	大学進学に向け必要な資質や学力を補強し、意義ある上級学校進学に資する力をつける。			進学課外	12月～1月	12		◎								
全学年	ボランティア活動	地域を題材に、人と関わる力や主体的に協働する力をつける。			特別活動、課外	通年		◎		◎							
								合計時数	213								